

日中はまだまだ夏と変わらず暑い日が続いていますが、すっかり日が落ちるのもはやくなり、朝晩はすっかり過ごしやすくなりました。秋はすぐそこまできているようですね。1日の気温差が大きくなるこの時期は、体調を崩しやすくなります。毎日の体調の変化にご注意ください。

防災週間(8月30日～9月5日)

8月は大きな地震が各地であり、南海トラフ地震臨時情報も発表されました。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを準備しておきましょう。

保育園では毎月避難訓練を行っていますが、ご家庭でもお子さんに火事や地震が起こったらどのように行動するべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

9月1日は「防災の日」です。

○非常時の持ち出し品の準備

リュックの中には非常時の持ち物を準備しておきましょう。

○避難する場所

避難場所がどこなのか、そこまでの経路を確認しておきましょう。

○地震で倒れやすいものがないか

棚の上に置いてある物は下ろし、倒れそうな物は固定するなどの工夫をしましょう。

○家族がはぐれた場合の連絡方法

はぐれた時の待ち合わせ場所や緊急連絡先はいつも身につけるようにしましょう。



9月9日は「救急の日」です。

ご家庭に救急箱はありますか？お子さんがケガをしたり、具合が悪くなった時にすぐに使えるように準備しておきましょう。

○中身を点検しておきましょう(薬、ガーゼ、テープ、爪切り、ピンセット、絆創膏、体温計、脱脂綿、綿棒、包帯、はさみ、は入れておくとう便利です)

○薬の使用期限は1年に1回は確認しましょう
○消耗品は使ったら買い足しておきましょう

「体温」が健康の状態を伝えてくれます

病気の時はもちろん、毎日の健康管理のために、体温計は必需品。特に乳児クラスのお子さんは、自分で体調不良を訴えられないので、登園前の検温は脇の下で計ってあげてください。

◎正しい体温の測り方

体温は、動いた後や食事の後、気温によって1日の中で変動します。

正確に測定するには、運動や食事の後を避けましょう。

汗をかいている場合は、脇の下の汗を拭き取ります。

脇の下の中央部分に体温計の先を当て、下から45度の角度になるように挟み、脇をきちんと閉じて計測します。計測中は体温計の位置を変えないようにしましょう。

接触型体温計

◎正確に体温を測れる
△計測時間が長い



非接触型体温計

◎計測時間が短い
△正確な体温ではない
△気候や環境に左右されやすい



<気管支拡張剤の貼り薬についての注意事項>

気管支喘息や気管支炎の時に気管支を拡張させ、咳を沈め、呼吸を楽にする目的で使用される薬に、気管支拡張テープ(右写真)があります。小児科でよく出される薬ですが、使用目的、使用方法、使用期間、使用上の注意を確認して使用するようにしてください。また、テープ等は小さく剥がれやすく、子どもたちが拾って口に入れてしまうなどの危険があります。

9月からテープを貼ったまま登園する際には、下記のルールを守っていただきますようお願いいたします。

- 使用する際は、テープに日付と氏名を記入し、背中に貼付をお願いします。
 - 「投薬依頼書・貼用薬確認書」が必要になります。登園時にご記入をお願いします。
 - また、登園時に保育士にテープを貼っていることを伝えてください。
 - はがれた場合は、園では貼り直しせず、ご返却いたします。
 - テープがはがれそうな時には、絆創膏や肌に優しいテープ等で補強させていただきます場合があります。
 - テープも投薬と同様ですので、水遊び・シャワーは禁止です。
- ご協力のほどよろしくお願いいたします。

F ふきふき、汗を

皮脂や水分は拭いて、貼る場所は清潔に。入浴後などは、汗がひいてから貼りましょう。



I いけないよ、さわっては

ライナーをはがす時や皮膚に貼る時には、テープの接着面を指でさわらないように注意しましょう。



T てのひらで、ひと押さえ

テープを貼ったら、最後に手のひらでしっかりとまんべんなく押さえましょう。

